

# 会 議 要 旨

会議名	令和7年度 第1回館山市立博物館協議会
開催日	令和8年2月27日(金) 13時57分～15時28分
開催場所	館山市立博物館本館 集会室
出席者	<p>館山市立博物館協議会 梶山 林繼、清本 正人、石井 則子、須田 啓子</p> <p>館山市教育委員会 教育長 石井 浩己          教育部長 三浦 太郎          生涯学習課長・博物館長事務取扱 内堀 哲也          博物館副主幹(兼)学芸係長 宮坂 新          博物館庶務係長 宮本 朋哉</p> <p>館山市 経済観光部観光みなの課みなの係長 鈴木 雅史          指定管理者 (株)塚原緑地研究所館山事業所長 中丸 仁</p>
欠席者	館山市立博物館協議会 鈴木 賢一
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	なし
会議概要・結果等	<p>1 開会(進行 博物館:宮本)</p> <p>2 挨拶          館山市立博物館協議会 会長 梶山 林繼          館山市教育委員会 教育長 石井 浩己</p> <p>3 事務局紹介</p> <p>4 議事          (1) 館山市立博物館事業について          ①令和7年度事業実施状況          ・ 組織・施設運営, 指定管理, 入館者数, 施設改修(説明:博物館 宮本)          ・ 常設展, 展示事業, 教育普及事業, 資料管理, 資料収集・利用, 刊行物          購入資料の概要(説明:博物館 宮坂)          ②令和8年度事業計画(案)(説明:博物館 宮坂)          ・ 常設展, 企画展等, 教育普及事業, 印刷物の発行, その他</p> <p>(2) 渚の博物館事業について(説明:観光みなの課 鈴木)          ① “渚の駅”たてやま整備経緯          ② 渚の博物館, 渚の駅入館者数          ③ 令和7年度イベント等実施状況          ④ その他施設改修</p> <p>(3) 館山城指定管理業務について(説明:(株)塚原緑地研究所 中丸)          ・ 開館数, 入館者数(利用者実績), 城山公園駐車場利用状況          ・ 展示物の管理, 利用促進に係る情報発信(SNS, ホームページ等)          ・ 苦情・意見・要望等, 災害対応・事件・事故等の対応実績など</p>

5 その他

- ① 博物館法改正による再登録申請（説明：博物館 宮坂）
- ② 所蔵資料の重要文化財指定（説明：博物館 宮坂）
- ③ 諸連絡事項（説明：博物館：宮本）

6 閉会

議事（１）～（３）承認

【以下：質疑応答・意見等】

（◎委員質問・意見 ●館山市側）

（１）館山市立博物館事業について

- ◎令和８年度修繕・工事（予定）で博物館本館キュービクル設備交換工事とあるが、キュービクルとは何ですか。
  - キュービクルとは、高圧受電を受電し、低圧に変化して建物内に供給する受電設備で原則として、50kw 以上の高圧電力で受電する施設（博物館本館）に、キュービクルの設置が義務付けられている。そのキュービクル内の設備が更新推奨年数を超過しているため、交換工事を実施する。
- ◎令和８年度修繕・工事（予定）で博物館本館車両進入路及びスロープ設置工事とあるが、具体的にどの位置でどのような工事を実施するのか。
  - 現在、博物館本館玄関前には、階段があるため、車両を横付けすることができない。階段部分を一部解体し、4 m幅程度でなだらかな傾斜上の道路を作り、城山公園から緊急車両等が玄関前まで横付けが可能になるよう進入路を設ける工事を予定している。
- ◎バリアフリー化が進み、緊急時以外でもお客様の利便性が向上することは非常によい。
- ◎現状、車椅子で博物館本館に来館する場合どのように来館すればよいか。
  - 現状でも車椅子用のスロープはあるが、車両で玄関前まで来ることは不可能。それを可能にできる工事を予定している。
- ◎本館内にはエレベータが無いため、館内に入っても２階には上がれないということか。
  - お客様よりお叱り、要望を受けている。
- ◎以前怪我をしていたときに、荷物用のエレベータで２階へ上らせてもらった記憶があるが。
  - 荷物用エレベータも老朽化により現在は休止状態である。

（２）渚の博物館事業について

- ◎来年度以降いろいろなイベントの休止があるようだが、イベントにかける予算や人員が厳しくなってきたことが要因か。
  - 観光みなと課の事業だけではなく、館山市全体でイベントの縮小や見直しを実施している。当課が実施しているイベントの参加者数も減少傾向にあり、これまでのやり方での需要が減ってきたと考えている。ただしイベントを休止させることをマイナスな面だけでは捉えていない。さかなクングャラリーのリニューアルを行っているが、今回のリニューアルでは、昨今話題になっている、海洋環境問題を取り上げ、観て終わるだけではなく、学びの要素も取り入れたリニューアルを進めている。このリニューアルをきっかけに、3月1日から週末に数回、水産技術員による、マ

イクロプラスチックごみを使った万華鏡作りをイベントとして考えている。今後要望があった際、このようなイベントを小学生など、様々な方を対象に開催することができれば、今までとは違った形で館山の海の魅力の発信や学びの場を提供できると考えている。

◎館山夕日棧橋に「にっぽん丸」などの大きな船が接岸した際、乗船客は歩いて渚の駅まで来るのか。

●歩いて来る方もいるし、船舶の運行会社が用意したシャトルバスで棧橋の先端から渚の駅まで来る方もいる。

(3) 館山城指定管理業務について

質問・意見等、特になし。